

会議録

会議の名称	第1回弥富市総合計画審議会
開催日時	令和4年8月29日(月) 午後1時30分～3時30分
開催場所	弥富市役所本庁舎5階 協議会室
出席者及び欠席者	出席者：藤井勉(会長)、入江容子(職務代理)、伊藤廣、鬼頭由美子、伊藤肇章、児玉日佐美、佐藤博孝、葛山裕司、南谷元尚、加藤祥二、奥村明彦、伊藤善啓、八木輝治、清水香菜、東嶋とも子、手嶋正章、今井いずみ、鈴木裕一(順不同) 欠席者：伊藤恵造、釜田公良 事務局：市長、副市長、総務部長、市民生活部長、健康福祉部長、建設部長、教育部長、議会事務局長、総務部参事、企画政策課職員4名、(株)ぎょうせい3名 傍聴人：2名
会議内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 委員紹介 4 会長の選任、職務代理者の指名 5 市長の諮問 6 協議事項 (1) 第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針(案)について 7 報告事項 (1) アンケート(市民・中学生)の実施について (2) 市民ワークショップの実施について 8 その他 9 閉会
会議資料	<ol style="list-style-type: none"> 1 次第 2 委員名簿 3 策定方針(案) 4 資料1-1 アンケート調査票(要点) 5 資料1-2 弥富市総合計画市民アンケート票 6 資料1-3 弥富市総合計画中学生向アンケート票 7 資料2 ワークショップ募集要項 8 参考1 弥富市総合計画審議会条例 9 参考2 弥富市総合計画審議会運営要領 10 参考3 弥富市総合計画審議会傍聴要領 11 参考4 総合計画策定委員会要綱

発言者	会議の経過（議題・発言内容等）
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>開会</p> <p>ただいまより第1回弥富市総合計画審議会を開催させていただきます。</p> <p>私は、本日司会を務めさせていただきます企画政策課長の伊藤と申します。どうぞよろしくをお願いいたします。</p> <p>本審議会は、会議録作成のため録音させていただきますので、御了承ください。</p> <p>また、御発言の際は、お手元のマイク操作を事務局のほうで行いますので、スイッチなどは、お触りになられずに使っていただきたいと思います。挙手にてお願いいたします。</p> <p>続きまして、欠席委員の御連絡をさせていただきます。</p> <p>本日は、委員名簿12番、伊藤恵造委員、16番、釜田公良委員より欠席の御連絡をいただいております。ただし、定足数は満たしておりますことを併せて申し添えます。</p> <p>会議に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。本日、机の上に配席表を御用意しておりますが、その他、先日、郵送にて送付させていただきました資料はお持ちでしょうか。もしお持ちでないようでしたら、挙手にて言っていただければと思います。よろしいですね。</p> <p>当審議会は、審議会条例に基づき、市長の諮問に応じ、弥富市の総合計画に関する事項を調査、審議するために設置をしております。審議会委員の皆様につきましては、各分野の代表の方をはじめ、学識経験者の方、総合戦略委員の皆様、公募で選任された市民のお二人の合計20名に委嘱をさせていただいているところでございます。</p> <p>また、会議録及び会議資料は原則公開とし、委員名簿につきましても、支障がなければ、お名前、所属、役職は公開することとしておりますので、あらかじめ御承知おきください。</p> <p>なお、本日の第1回審議会におきましては、計画策定の方向性を決めることとし、次回、第2回審議会において、委員の皆様から、それぞれ御専門の分野等での御意見を頂戴したいと考えております。</p> <p>本日の会議は、午後3時30分までとしておりますので、皆様方の御協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、次第に基づきまして進行させていただきます。</p> <p>次第2の市長挨拶に移ります。</p> <p>安藤市長、よろしくをお願いいたします。</p>
安藤市長	<p>皆様、こんにちは。市長の安藤正明でございます。</p> <p>本日は、第1回となります弥富市総合計画審議会に公私とも大変御多忙のところ、委員の皆様には御出席をいただきまして、誠にありがとうございます。日頃より市政各般にわたりまして、それぞれのお立場で御支援、御協力をいただいておりますこと、心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>さて、令和元年度から始まりました第2次弥富市総合計画の前期基本計画が令和5年度をもって終了することから、令和6年度から令和10年度までの5年間を計画期間とする後期基本計画を策定する運びとなりました。私ども地方自治体を取り巻く環境は、人口減少や少子高齢化といった社会の進展などにより厳しさを増しているところでございます。</p> <p>また、それに追い打ちをかけるように、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、私たちの生活は新しい生活様式がスタンダードとなり、社会経済活動にも大きな影響を及ぼしているところでございます。</p> <p>そのような中、現状の前期基本計画は、市民との協働を強く意識した計画となっており、あらゆる分野において協働の取組を進めていくものでございます。その中でも、地方創生の分野では、地域資源とも言える様々な人材や場所を市民ニーズとマッチングさせる事業等を、市民と市で実施するヤトミーティングプロジェクトが動き出し、本日、市民公募で御出席の2名の方にも御参加をさせていただいております。30名以上のチームで、住みやすいま</p>

	<p>ち、弥富の実現に向け、一緒に汗をかきながら走っているところでございます。</p> <p>そのほかにも、本市の地場産業、弥富の金魚の振興につきましては、令和2年度は「弥富の金魚拡散大作戦！！」、令和3年度は「やとみの金魚”すくって★！大作戦！！”」、そして、今年度は「やとみの金魚”脱出”大作戦！！」として、新型コロナウイルス感染症の影響で行き場を失った弥富の金魚を救うため、県内外各地の様々な施設に出向き、多くの方々に金魚の配布や金魚すくいを楽しんでいただいております。</p> <p>令和3年度は、このように各地で実施した後、最後の締めくくりとして、11月に開催された海南こどもの国秋まつりでも金魚すくいを行ったわけでございますが、これまで他会場で金魚すくいをしていただいた方々にも、遠方からではございますが、再び足を運んでいただくなど、金魚ファンの方も多く、観光人口の流入に寄与しているものと実感をしているところでございます。一方では、協働の取組がなかなか進まない分野もあるのが現実でございます。</p> <p>これから皆様と策定していく後期基本計画におきましては、前期計画を継承し、市民協働をより強く推進していくとともに、「わたしとみんなの未来計画」という愛称を意識して、市民の皆様と一緒に弥富の明るい未来に向かって突き進む計画としてまいりたいと考えております。</p> <p>委員の皆様方には、策定に当たり忌憚のない御意見、御提言を賜りますようお願い申し上げますとともに、市政推進のために変わらぬ御協力を重ねてお願い申し上げます、簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。本日は、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第3、委員の紹介に移ります。</p> <p>名簿順に自己紹介をお願いしたいと存じます。なお、1分程度、着座にてお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
伊藤廣委員	<p>本年度、区長会長を任命させていただいております鍋田の伊藤廣でございます。どうぞよろしくお願いいたします。お忙しい中、お集まりくださりまして、ありがとうございました。いろいろな意見をお聞かせいただきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
鬼頭委員	<p>こんにちは。女性の会の代表の鬼頭由美子です。いろいろ勉強させていただきます。よろしくお願いいたします。</p>
伊藤肇章委員	<p>弥富市商工会長の伊藤肇章と申します。委員の皆さん方、最後までよろしくお願い致します。</p>
児玉委員	<p>社会福祉協議会理事を務めさせていただいております児玉日佐美です。よろしくお願い致します。</p>
佐藤委員	<p>農業委員会長の佐藤博孝です。今後ともよろしくお願い致します。</p>
葛山委員	<p>名古屋港管理組合の企画調整室計画担当課長をしております葛山と申します。主に港湾の関係で、いろいろと御協力させていただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。</p>
南谷委員	<p>津島公共職業安定所の南谷と申します。よろしくお願い致します。</p> <p>ハローワークのほうで扱っている指標の1つに有効求人倍率がございます。新型コロナの影響で求人数がかなり低下しました。それに伴って、令和2年の9月に愛知県下、1.02倍ま</p>

	<p>で低下しましたが、先々月、6月の数字でいきますと、1.37倍まで今、回復をしております。緩やかでありますけれども、回復傾向にあるというところでもあります。</p> <p>また、11月には、就職フェアの開催を予定しております。その就職フェアでは、弥富市さんにも共催の承認を今、依頼しているところがございます。本日はよろしく願いいたします。</p>
加藤委員	<p>失礼します。海翔高等学校校長の加藤でございます。よろしく願いいたします。</p> <p>この審議会で勉強させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。</p>
奥村委員	<p>海南病院の奥村でございます。医療機関の立場からこの審議会に参加をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。</p>
伊藤善啓委員	<p>あいち海部農協十四山支店支店長の伊藤でございます。十四山支店は、子宝地区から今の鍋平地区に移転して8か月が経とうとしております。だんだん馴染んできたと思っておりますが、まだまだこれからと思っておりますので、弥富市さんに御協力を仰ぎながら運営していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
八木委員	<p>初めまして。私は、弥富市鍋田町で米麦大豆を約200ヘクタールほど経営をしております有限会社鍋八農産の代表の八木と申します。農業のことしか分かりませんが、そこで、いろんなことで弥富市に貢献できればなというふうに思っておりますので、今回はよろしく願いいたします。</p>
清水委員	<p>丸紅中部支社の支社長補佐をしております清水と申します。</p> <p>弊社は、弊社グループが弥富市さんで木曾岬メガソーラーの運営をさせていただいております。大変、弥富市さんにはお世話になっております。</p> <p>今回は、貴重な機会をいただきまして、いろんな話をお伺いさせていただけること、大変楽しみにしております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
東嶋委員	<p>愛知県西部防災ボランティアコーディネーターネットワークの会代表の東嶋です。災害対応ということも含めた形での参加をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願いいたします。</p>
入江委員	<p>同志社大学政策学部の入江と申します。以前の所属のときから弥富市さんとお付き合いをさせていただいております。また今回、参画させていただけることを大変うれしく思っております。専門は、地方自治と公共政策です。よろしく願いいたします。</p>
手嶋委員	<p>名城大学の都市情報学部の手嶋です。専門は公共政策です。前期の総合計画の策定のときにも参画いたしました。引き続き、後期の策定にも関わりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>
藤井委員	<p>愛知学院大学社会連携センターの藤井勉と申します。弥富市さんとは、昨年度3月に包括連携協定を結ばせていただいた御縁から、このような貴重な機会をいただきました。どうぞよろしく願いいたします。</p>
今井委員	<p>弥富市で移動式のリラクゼーションをやっております今井いずみと申します。</p> <p>ヤトミーティングのほうでもお世話になっておりまして、弥富市がもっとチャレンジできるまちになればいいな、あと、お母さんたちがもっと何か自分らしく生きられるまちにしたいなと思って参加させていただきました。いろいろ勉強させてください。よろしく願いいたします。</p>

鈴木委員	<p>初めまして。鈴木紙工所の鈴木と申します。弥富市の神戸で紙の加工をやっております。</p> <p>今回は、市民代表の公募委員ということで、今井さんと同じくヤトミーティングのメンバーというところでも活動させていただいて、直近はいろいろ市の行政の方々とちょっとお話しする機会があるので、今回もいろいろ勉強させてもらえればという思いで参加しております。</p> <p>一応、意気込みとしては、なかなかこういう会議とか、計画とかというのは、市民の立場からすると、なかなか伝わり切らないというか、分かりにくいところはどうしても出てくるので、期待しているのは、やっぱり市民に伝わる計画であったり、審議の内容であったりということをしたいなと思っているので、自分の口からもいろいろな方に伝えることができればいいなと思っています。どうぞよろしくをお願いします。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>委員の皆様、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願いいいたします。</p> <p>続きまして、市役所職員の紹介をさせていただきます。</p> <p>それでは、副市長から順にお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">（市職員自己紹介）</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>最後になりますが、本市より総合計画策定支援業務を受託しております株式会社ぎょうせいの皆様にも出席をさせていただいております。ありがとうございます。</p> <p>次に、次第4、会長の選任、職務代理者の指名に移らせていただきます。</p> <p>会長につきましては、弥富市総合計画審議会条例第3条第1項で、委員の互選により定めるとしておりますので、委員の皆様、よろしくお願いいいたします。</p>
委員	<p style="text-align: center;">（「事務局一任」の声あり）</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>事務局一任の発言をいただきましたが、特に御意見がなければ、事務局といたしましては、学識経験者のうち、地域連携が御専門で、まちづくりの研究をされております愛知学院大学の藤井勉様をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。</p>
（委員一同）	<p style="text-align: center;">（ 拍 手 ）</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>ありがとうございます。</p> <p>当審議会の会長には、藤井勉様が選出されました。藤井会長は、会長席へ御移動願います。</p> <p>続きまして、藤井会長に職務代理者の指名をさせていただきます。</p> <p>会長、よろしくをお願いします。</p>
藤井会長	<p>職務代理者には、前期計画策定時にも職務代理者を務められた、また、地方自治体を対象にした研究をされております、そして、地方自治に精通されております、同志社大学の入江容子様を指名させていただきます。入江様、よろしくをお願いします。</p>
（委員一同）	<p style="text-align: center;">（ 拍 手 ）</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>入江様、職務代理者席に御移動をお願いいたします。</p> <p>それでは、会長の藤井様、職務代理者の入江様の順に一言御挨拶をお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいいたします。</p>
藤井会長	<p>御覧のとおり、私は、大変、今この場で緊張しております。このような重責が自分に務まるのかということをお問自答しながら、この場に立たせていただいているというのが正直な</p>

	<p>気持ちでございます。このような市の総合計画に関わるというものも正直初めての経験でございます。</p> <p>そして、私は、普段は大学の中でどのようなことをしているかといいますと、社会連携センターという部署で、行政の方、あるいは企業さん、いろんなNPOさんと連携をしながら、学生の教育の場とか、大学ができる地域の貢献というところをコーディネートしているようなところが主な仕事でございます。</p> <p>そのような経験から、今回、弥富市の総合計画審議会の会長を務めさせていただくに当たりましては、弥富市に住まわれて、働かれて、これからの弥富市を考えていただける委員の皆様のお意見、専門の力をいただきながら、あるいは、学識経験者の先生方のいろんな研究で持たれている知見といったもの、それから、何より弥富市のために日々御尽力されている市役所の皆様のそれぞれの立場の協力の中で、私はその場をコーディネートできることに貢献できれば、会長という立場でお役に立てるのではないかというふうに思っております。</p> <p>そのような人間ですので、ぜひ皆様方の御協力があって、これから輝く未来をつなぐまちになる弥富市の後期計画を皆様とつくっていただければというふうに思っております。そして、繰り返しますが、慣れていませんので、どんどん遠慮なく手を差し伸べていただければというふうに思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
(委員一同)	(拍手)
入江委員	<p>職務代理に選任していただきました入江と申します。改めてよろしくお願いいたします。</p> <p>先ほど市長からも後期の計画についての御挨拶がありましたけれども、やはり10年もの総合計画の半分が終わったという位置づけ、これをしっかりと認識して、これから後の5年間をどうしていくかというこの後期の計画をこの場で皆様と議論していくべきかなというふうに思っております。そのためには、先ほど市長からもありました、やはり市民との協働をより一層進めるという観点をまずは大事にして、この審議会から皆様方との意見交換を活発にしていきたいというふうに思っているところです。</p> <p>それと、併せまして、先ほど委員の皆様から御挨拶がありました中で、鈴木委員がおっしゃっていた市民に伝わる計画というのは、大変重要な視点かなというふうに思いますので、そういったところもきちんと皆さんで認識し、共有しながら進めていただければというふうに思っております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
(委員一同)	(拍手)
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、次第5の市長の諮問を行います。</p> <p>只今よりバックパネルを御用意させていただきますので、藤井会長、安藤市長は、バックパネルの前に御移動をお願いしたいと存じます。</p> <p>それでは、市長、よろしくお願いいたします。</p>
安藤市長	<p>令和4年8月29日、弥富市総合計画審議会会長様 第2次弥富市総合計画について（諮問） 弥富市総合計画審議会条例第1条の規定に基づき、第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定について、貴審議会の意見を求めます。よろしくお願いいたします。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の進行につきましては、藤井会長の取り回しをお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>それでは、よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の6、協議事項に移ってまいります。</p>

事務局（伊藤）

本日の協議事項は1つになります。第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針（案）についてになります。

それでは、事務局のほうから御説明をお願いできますでしょうか。

それでは、お配りしております第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針（案）につきまして御説明申し上げます。

着座にて失礼いたします。

1ページ目を御覧ください。

1、策定の趣旨についてでございますが、平成31年3月に第2次弥富市総合計画基本構想及び前期基本計画を策定いたしました。この前期基本計画が令和5年度をもって終了となりますので、このたび、本市を取り巻く社会経済状況の変化や、前期基本計画の進捗状況を踏まえ、令和6年度以降の5年間で取り組むべき各分野の方向性を示す後期基本計画を策定いたします。

また、令和3年3月に策定いたしました第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略についても、令和5年度に計画期間の終了となりますので、改訂版を後期基本計画と一体的に策定いたします。

続いて、2、計画の構成と期間についてでございます。

総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の3つで構成しております。

1つ目の基本構想は、令和元年度から令和10年度までの10年を期間としており、本市の将来を見据えたまちづくり、行政運営の基本的な理念や方向性、目標を示します。

2つ目の基本計画は、前期を令和元年度から令和5年度までの5年間とし、後期を令和6年度から令和10年度までの5年間とし、主に基本構想に基づき実施する具体的な施策の内容を示します。

3つ目の実施計画は、計画期間を3年としつつ、毎年度ローリング方式により見直しを行うものになります。こちらは、基本計画に示す施策ごとに実施する具体的な事業を示し、毎年度の予算編成の指針となります。

2ページ目を御覧ください。

3、総合戦略との関係についてでございます。

第2期弥富市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、人口減少対策と地域活性化につながる施策の方向性や具体的な事業を計画的に実施するために必要な事項を定めたものとなります。総合計画と総合戦略の双方は極めて関連性が高いことから、相互の整合性を図る必要がございます。

下の図におきまして、基本計画と、その下の総合戦略が令和5年で同時に終期を迎えます。そこで、令和6年から10年までの期間を一体的に策定してまいります。

続いて、3ページ目を御覧ください。

4、策定にあたっての基本的な考え方についてでございますが、第2次総合計画前期基本計画の策定以降、新型コロナウイルス感染症の流行や、デジタル社会の実現に向けた動きなど、社会情勢は大きく変化しております。これらの変化に対応し、将来像を実現するためにも、市民と行政が手を取り合い、市民一人一人が主役となって活躍できる持続可能なまちづくりを実践していく必要がございます。

後期基本計画は、10年の基本構想内に位置づけられておりますので、前期基本計画策定時の考え方を継承しつつ、時代潮流や市の課題等を適宜反映させてまいります。

なお、委員の皆様より各専門分野等での御意見を頂戴し、計画策定に盛り込んでいきたいと考えております。

4ページ目を御覧ください。

5、進行管理についてでございます。

総合計画をより実行性の高い計画とするために、実施計画事業評価及び施策評価を引き続き実施し、PDCAサイクルにより、見直し、改善を加えてまいります。

さらに、外部への報告・公表といたしまして、実施計画事業評価及び施策評価の結果を外

	<p>部有識者会議において報告し、その集約したシートをホームページで公表することにより、客観性や信頼性を確保し、市民への説明責任を果たしてまいります。</p> <p>5ページ目を御覧ください。</p> <p>6、策定体制について御説明いたします。</p> <p>(1) 総合計画審議会につきましては、繰り返しになりますが、弥富市総合計画審議会条例に基づき、市長の諮問に応じて調査審議を行う機関となります。条例におきまして、審議会は、委員20人以内で組織するとあり、基本的には前期計画に携わっていただいた方々を中心としつつ、新たにお声掛けさせていただいた方、また、既に昨年度、委嘱済の総合戦略委員の方々に兼ねて審議会委員を委嘱させていただき、市民公募の2名を含め、計20名となりました。</p> <p>続いて、(2) 庁内体制でございますが、弥富市総合計画策定委員会設置要綱に基づき、総合計画に係る調査・研究、関係機関との協議・調整、原案策定を行う策定委員会、そして、計画案の専門的事項について調査・研究する作業部会、その作業部会の調査・研究結果の総括事項について調査・検討する幹事会がございます。</p> <p>なお、審議会開催に当たり、策定委員会で協議等を経ておりますことを申し添えます。</p> <p>6ページ目を御覧ください。</p> <p>(3) 市民参画といたしまして、①市民ワークショップ「弥富・みらい創造」を10月21日から計4回開催いたします。市内に在住・在勤・在学の18歳以上の方及び市が連携している大学の学生、計35人程度で行います。このワークショップには、当審議会の藤井会長にコーディネーターとして携わっていただきますことを御報告申し上げます。</p> <p>続きまして、②市民アンケートでございますが、市民の意識や現状を把握し、計画策定に向けた基礎資料とするため、16歳以上で無作為抽出した市民3,000人を対象に実施いたします。</p> <p>③中学生アンケートでございますが、市内の中学2年生全員を対象に実施いたします。こちら2つのアンケートにつきましては、後ほど改めて御説明いたします。</p> <p>続きまして、④パブリックコメントにつきましては、弥富市パブリックコメント手続要綱に基づき、令和5年9月頃実施する予定でございます。</p> <p>最後に、7ページの7、策定スケジュールを御覧ください。</p> <p>図にありますとおり、これから2年間をかけて策定していく予定でございますが、こちらのスケジュールは状況に応じて変更する可能性がございますので、あらかじめ御了承ください。</p> <p>以上となります。</p> <p>藤井会長 御説明ありがとうございました。 第2次総合計画基本構想の10年の中の後期基本計画として令和6年度から10年度までの計画策定というふうになっております。 ただいまの説明に当たりまして、委員の皆様方から何か御意見、御質問等はございますでしょうか。 鈴木委員、お願いします。</p> <p>鈴木委員 この先の第8回に向けて、いろいろスケジュールが書かれているので、確認だけなんですけど、前期の計画が終わった上で、前期の審議会でも付帯項目で提言されていた、計画を立てただけで終わりじゃなくて、きちんとPDCAを回してくださいよ、その辺の振り返りと、それから検証を確実にすることみたいなことが提言されていたと思うんですけど、それはいつ、どこでやるのかみたいな。もしやっているのであれば、どういうことになっているのかわかればと。</p> <p>藤井会長 ありがとうございます。 前期の基本計画が令和元年から5年までで策定をされておりますので、既に実施している</p>
--	---

事務局（伊藤企画政策課長）	<p>計画があるというところで、どのようにPDCAのサイクル、評価・振り返りがされているのかというところの御質問でございます。どうでしょうか。</p> <p>事務局の伊藤でございます。 第2回の審議会におきまして、前期計画の振り返りの中間報告を出させていただきまして、この後、アンケート等の説明をさせていただくわけですが、そちらの中間報告も踏まえた上で、第2回の際に一旦御協議していただくというふうに考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>2回目の審議会の中で、前期の基本計画の振り返りという資料も出させていただくということです。御質問ありがとうございます。</p> <p>ほか、委員の皆様から御質問、御意見等はございますでしょうか。 今井委員、よろしくお願いいたします。</p>
今井委員	<p>この市民ワークショップは、私たちも参加したほうが良いということですね。</p>
藤井会長	<p>いろんな参加者を募ってというところで、公募で募集をする予定かと思いますが、その辺、詳細を御説明いただいてもよろしいですか。</p>
事務局（伊藤）	<p>御質問ありがとうございます。</p> <p>市民ワークショップにつきましては、次第の7、報告事項の（2）で御説明はさせていただくんですが、市民ワークショップの公募は9月広報に掲載しておりますので、金曜日から順次、広報誌の配布が行われておりますので、そこで市民の皆様方の目には触れる状況とはなっておりますけれども、市のホームページですとか、窓口等にチラシも配布しておりますので、広くいろんな方に御参加いただければと思っておりますので、当審議会の委員の皆様にももちろん御参加いただくことは可能と考えております。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>市民協働でつくっていく計画策定の中の大事な意見をいただく場というところで、ワークショップを公募でいろんな方に参加していただくという計画になるかなと思います。御質問ありがとうございます。</p> <p>そのほか、委員の皆様から御意見等ございますでしょうか。</p> <p>今回、審議事項として中心にしましたのは、策定方針についてということになります。冒頭の説明にもありましたとおり、次回、第2回の中では、いろんな委員の皆様専門的なところでの御意見をいただければというふうに思っておりますので、この協議事項につきましてはよろしかったですか。</p> <p>それでは、御意見、御質問等がもうないので、これで第2次弥富市総合計画後期基本計画の策定方針については、正式に決定というところにさせていただいて、表紙の（案）を取り消すようお願いいたします。ありがとうございます。</p> <p>それでは、続きまして、次第の7、報告事項に移ってまいりたいと思います。</p> <p>報告事項の1番目、アンケート（市民・中学生）の実施についてというところで、事務局のほうより御説明をお願いできますでしょうか。</p>
事務局（伊藤）	<p>それでは、市民アンケート及び中学生アンケートにつきまして、資料の1-1、1-2、1-3を使用し、御説明いたします。</p> <p>着座にて失礼いたします。</p> <p>資料1-1でアンケート調査票の要点をまとめさせていただきましたので、私のほうから</p>

そちらを読み上げさせていただきます。皆様は、恐れ入りますが、資料1-2、1-3を御覧ください。

なお、2つのアンケートに共通いたしました、経年比較をするため、平成29年に実施しました第2次弥富市総合計画策定に向けたアンケートを基本としつつ、時代潮流や市の概況、動向を踏まえた調査票といたしました。

初めに、資料1-2、市民アンケートについて御説明いたします。

今回のアンケートにつきましては、表紙の下段にQRコードを載せ、お一人ずつに振られたログインIDとパスワードでウェブ回答を可能といたしました。これにより、スマートフォンやタブレットにより御回答いただける状況となっております。

それでは、5ページの下段を御覧ください。

新型コロナウイルス感染症についての設問でございます。多くの市民がコロナ禍において活動制限等を余儀なくされ、何かを犠牲にしたり、不安な日々を送られていると思います。その影響等を問8から問11までお聞きするものでございます。

続いて、7ページを御覧ください。

近年、ICT化が進み、若者のみならず、御高齢の方も情報通信機器を利用している現状があると思います。問12につきましては、その状況を把握するための設問でございます。

続いて、下段、市のデジタル化の推進についてでございますが、問13では、行政情報の入手手段について、問14では、どの分野でデジタル化が重要と考えるか、問15では、デジタル化に伴い、期待される効果についてでございます。

9ページの間16・17は、マイナンバーカードについてお聞きするもので、問18では、デジタル化が進むことでもたらされるメリット、デメリットについての設問となります。

10ページ下段からは、市民参画・協働分野についてでございます。

こちらは、第2次総合計画の特徴の1つである市民の参画と行政との協働について、市民の意識等を伺うものでございます。そのうち、問21につきましては、当課で進めております地方創生事業、ヤトミーティングの認知度ををはかるため、加えさせていただきました。

12ページ目を御覧ください。

こちらからは、総合計画前期基本計画の基本目標の枠組みにおける施策目標単位で満足度及び重要度をお聞きするものでございます。

14ページ目、下段の7、総合計画に掲げる重点施策項目（抜粋）を御覧ください。

こちらは、主要施策のうち、重点施策と位置づけられたもののうち、市としてお聞きしたい項目を選択して設問といたしました。

15ページ目を御覧ください。

市といたしまして、SDGsの取組を推進する上で市民の認知度を把握するものでございます。

簡単ですが、市民アンケートについては以上となります。

続きまして、資料1-3、中学生アンケートを御覧ください。

3ページ目の問8を御覧ください。

あなたは、将来どのような仕事をしてみたいですかという設問ですが、市として企業誘致やまちづくりの参考とするため、次世代を担う子供たちが、今、どのような仕事に就きたいと考えているか、お聞きするものです。

4ページ目の問10を御覧ください。

小中学校の環境をより魅力的にするためには、何が必要だと思いますかという設問ですが、小中学校の再編や学校におけるICT活用等、幅広い分野で参考とするため、生徒目線での自由な意見が引き出せればというところでございます。

中学生アンケートにつきましては、以上となります。

この2種類のアンケートにつきましては、本日の審議会後、印刷、発送の手続きに移ります。予定では、9月14日頃、市民や学生のお手元に届く形となります。

アンケートについての説明は以上となります。

藤井会長	<p>御説明ありがとうございました。</p> <p>一般の市民の方3,000人、それから中学生の方にお配りして、お答えをいただくアンケートになります。今後の後期の基本計画の策定に当たり、貴重な市民、中学生の皆様からの御意見を集めるために実施するアンケートになります。</p> <p>委員の皆様から御意見、御質問等があれば、お願いいたします。</p> <p>手島委員、お願いします。</p>
手嶋委員	<p>市民アンケートのほうなんですけれども、発送がいつでしたっけ。</p>
事務局（伊藤）	<p>発送は、9月14日を予定しております。</p>
手嶋委員	<p>印刷して、発送の準備も終わっているということはない？</p>
事務局（伊藤）	<p>まだ修正は可能です。</p>
手嶋委員	<p>そうしたら、ちょっと気になるところがあります。一番初めの個人の属性を聞いているところで、(5)の職種を聞いているところがあるんですけども、ここが、職業を聞いているのか、職種を聞いているのか、選択肢が中途半端になっているような、そんな印象を受けるということと、そもそもここまで聞く必要があるのかどうか、このアンケートを取るに当たってですね。あまり細かく聞かれると、回答者は嫌気が差して、回答してくれなくなってしまうということが起こってくるので、できるだけいろいろ細かいところを聞きたいという気持ちは分かるんですけども、回答していただく方の負担というものをできるだけ軽減するというような意味からも、(5)の職種については、省略したほうが良いような気がします。</p> <p>それから、上で職業についても質問していますので、(4)の職業のところの7番以降の回答者については(5)は全然関係ありませんので、そういう意味からも(5)の職種に関しては省いたほうが無難かなと思います。いかがでしょうか。</p>
藤井会長	<p>手嶋委員、ありがとうございました。</p> <p>1ページ目の(5)に当たるあなたの主たる職種はというところの御質問について、お答えいただくに当たり、やはり今後の質問に影響する可能性はあるということでの、ないほうがいいのではないかというふうに御意見をいただきました。</p> <p>ほかの委員の皆様から、この御意見についてございますでしょうか。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>今の件に関しては、どういう目的があって職種を聞いているというのは、市側からの何か回答はあるんですか。</p>
事務局（伊藤）	<p>失礼します。こちらの設問につきまして、前回も同じような職種の聞き方をしておりますけれども、一番は、この弥富市という地域柄、農林漁業に関する項目を設けて、そちらに従事する方というのを拾う目的で、こちらを設問として設けております。こちら、実は前回から触っております、大分細分化してはおりますので、例えば、これをなくす、なくさないという話は、またちょっと委員さんの皆様の中で御意見があればお伺いしたいとは思いますが、もっと簡素化する形というのも事務局としては可能というところでお答えさせていただきます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>趣旨としては、弥富市に住まわれる方で、どの職種にというところで、ここまで細かなくても、聞きたかった項目があるというところで設けられた5番目の設問という意図である</p>

	<p>ということでした。</p> <p>ほかの委員の皆様から、これについて御意見等あれば、頂戴できればというふうに思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>入江委員、お願いします。</p>
入江委員	<p>今回のアンケートで、後ろの項目とひも付けて、何か利用するところが特段ないということであれば、今回については、特に細かく聞かなくてもいいのではないかなというふうに思っています。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p>
入江委員	<p>ほかの点についてよろしいでしょうか。</p>
藤井会長	<p>お願いします。</p>
入江委員	<p>すみません、続きでお願いいたします。</p> <p>全体を拝見しての感想なんですけれども、市からアンケートを取られるということは、回答する市民として見たときに、大きな設問としまして、1、2、3の辺りは一般的なことかなというふうに理解はできるんですけれども、その後、4番として新型コロナウイルス感染症、5番でICT、6番で市のデジタル化の推進というふうにありますので、前に来ている項目が特に市が聞きたい項目なのかなという印象を受けると思うんですね。そうしたとき、4番から特出しで出ている新型コロナ、ICT、デジタル化、特にここに市が関心があるというふうに私は受け取れました。</p> <p>そうしたときに、4番なんですけれども、もちろんこの長いコロナ禍で市民の方々、たくさん、多方面で影響を受けていらっしゃると思いますが、これを特に市がお聞きしているんですね、今回。それに対して、答えが本当にあるかどうかというところの心配をしているわけです。</p> <p>例えば、国の関連での政策で実現できるところ、あるいは、今の時点で、まだそこまで答えが見えないところもあるかと思いますが、これを特に聞いたときに、市民としては回答するに当たり、これを回答すれば、これからの計画に施策として反映されるんじゃないかという期待を抱かれての回答になると思うんですね。そこまでの御用意があるのかどうかということをちょっと心配するということです。</p> <p>それから、その次に、ICTとデジタル化ということがきていますが、これももちろん国の施策としてもDX化ということはこれからどんどん推進していくべきでということなんですけれども、これも、市民が情報通信機器をどこまで利用しているかということと、市がDXを進めるということが、そこまで直結しない部分もあるんじゃないかというふうに思っております。もちろん市民の方のほうが、たくさんこういったデジタルのデバイスにアクセスできるというほうがDXを進めやすいというのは、一般的には理解できるんですけれども、本来のDXというのはそうではなくて、本当にユニバーサルにですね、デジタルに特化、精通しているとか、親しみを持っているという方以外も広く市民の方々に対して利便性を高めるというようなところに本来の目的があると思いますので、何を使っているとか、そういうところが繋がるのかなというふうに思った次第です。</p> <p>その後、市民参画・協働のまちづくりと来まして、市政に対する評価が8となっています。これ、もちろん、経年での変化、市民の回答を経年比較をなさるということが前提でという説明がありましたので、そのところはある程度理解はできるんですけれども、市政に対する評価がもっと前に来てもいいんじゃないかなと個人的には思うところです。これを活かしてこれから後期の5年間の基本計画を、市としては、市民の皆様の声を反映させる計画をつくっていきますよということを伝えるためには、市政に対する評価、8番の項目がもう少し前に来てもいいのかなというふうに感じました。</p>

<p>藤井会長</p>	<p>入江委員、ありがとうございました。 今、御意見ございましたのは3点かなというふうに思います。 1つは、アンケートの聞きたい順番になっているかどうかというところでございます。特に、8番の市政に対する評価のところ、もう少し先に質問項目としてはあってもいいのではないかと御意見を頂戴したと思います。 そして、4番の新型コロナウイルス感染症についてなど、いただいた御意見から計画に反映するというのが準備としてできているかというところになるかなと思います。 そして、ICT、デジタル化のところについては、DX、使い方の革新といったところにつながる質問になっているかどうか、今、現状どういったものを使われていますかというところの御質問が5番6番になるかなというふうな御意見だったかなと思います。 事務局、ご意見ありますでしょうか。</p>
<p>事務局（伊藤企画政策課長）</p>	<p>事務局の伊藤です。 アンケートの順番につきましては、今回、新型コロナウイルス感染症、それからICT、それからデジタル化、SDGsなど、時代の潮流による幾つかの質問を含んでおります。こちらは、読んでいっていただいて、スムーズに回答していただけるよう、市民の日々の生活に身近なところから順番に組み立てたつもりです。 先ほどの感染症の影響だとかの対策、それから、ICTやDXの関係だとか、そういったことにつきましては、現在のところ、今、市民の方が必要としている支援というものを把握し、それから今後つくり上げていく各施策だとか事業だとか、そういった中で参考にさせていただければと思います、その設問の中に入れてさせていただいているところです。 以上でございます。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>ありがとうございます。 答えやすいように順番に3番のあなたの日常的な行動ですとか、新型コロナウイルス感染症についてという日常に困っていること、実施しているところから設問としては設けていて、答えやすいように順番が組まれているというふうなご意見だったかと思います。ありがとうございます。 アンケート、市民向け、中学生向けのところについては、発送のタイミングというのがありますので、御意見をいただきながら、事務局と私のほうで今後、検討ができればなと思っておりますので、いただいた御意見を参考にしながらというところかなと思っておりますが、委員の皆様から御意見等、あればと思いますが、いかがでしょうか。 鈴木委員、お願いします。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>とりあえず大前提として、この計画、市民協働をもっと進めていくんだということの考え方からいくと、市民との接点って、もうこのアンケートかワークショップしかなくて、それできっちり意見を吸い出せるのかというのはちょっと心配なところが若干あります。ほかにももっと市民と何か接点を持ってやることは何かないのかなというのはちょっと置いておいて、とりあえずアンケートに関してですと、基本的なことかもしれないんですけど、市民3,000人対象というところなんですけど、素人感覚だと、いや、全員に聞いたらいいいんじゃないかとちょっと思うんですけど、お子さんはあれかもしれないんですけど、だったら市民ももっとということであれば、本来は全員に聞くべきじゃないのかというところがありつつ、それでも3,000人抽出したというのは、統計学上、それだけの母集団があれば、傾向はつかめるということでの根拠だとは思いますが、その辺りのちょっと考え方を確認しておきたいというのが1つ。 それから、アンケートの設問の仕方で、答えてすごく変わりやすいので、ある意味、誘導できるというところは非常にアンケートの怖さがあるんですけど、そういう中で、状態を聞くという設問が多くて、本当に聞きたいのは、何でそう思うかというところ、市民が。例</p>

	<p>えば、優先順位のどれを重要視しますかみたいところとか、どれを重要、どれを満足とかというところがある中で、状態はそれで答えやすいと思う設問方式になってはいますけど、結局、それって何でとか、どうしてそう思うのというところが拾えないと、なかなか市民の本当に考えているところがしっかり伝わらないんじゃないか、把握しにくくなるんじゃないかなど。難しいと思うんですよ、自由形式で書いてというところで、それを集計とか統計を取るの難しいと思うんですけど、せつかくアンケートを取るなら、知りたいのは、そういうところがあるかなと思います。</p>
藤井会長	<p>御意見ありがとうございました。</p> <p>2つ御意見としてはあると思います。3,000人ということでのアンケートのお願いということですけども、できるだけ多くの市民の方の御意見を拾うという意味では、市民全員のところでも可能ではないかということでした。もちろん集められる限界と経費的なところもあるかなというふうに思いますけれども、そここのところが1点目の御意見だったかなと思います。</p> <p>あとは、状態を聞いている設問というのが多いものですから、そこからどうしてという部分については、御意見を書いてもらうようなスペースというものが設問の中に設けられると、そのお答えに対してどうしてそういうふうに答えたかというのを、フリーな意見を聞く項目というものもあってもいいんじゃないかという御意見だったかなと思います。</p> <p>事務局のほうから、その点についてご意見ありますでしょうか。</p>
事務局（山内）	<p>すみません、事務局の山内です。</p> <p>いただいた質問の3,000人の話なんですけど、それは、鈴木委員のおっしゃるとおり、統計学上といえますか、それだけの人数を取れば、その傾向がつかめるというところで、その人数で今回設定しております。</p> <p>また、選んだ選択肢のその理由をというところだと思んですけど、おっしゃるとおりで、そういったところを聞いて、ようやく本質が分かるというのはあると思うのですが、やっぱりアンケートの答えやすさだったりとか、そういったところもあるし、前回のアンケートとの比較もあって、そういったところを加味して、そこまで重くないものというのも意識しつつ、一番最後に自由意見欄を設けておりますので、もし何か御意見等があれば、そこでフォローできるのかなというふうに考えております。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>いろんな状態でお答えいただく方にとって、答えやすい項目というものはもちろん選択していきながら選んでいくことにはなるかなというふうに思います。最後に自由記入のところ、まとめてにはなりますけれども、このアンケートについて、あるいは、それ以外のところについても御意見を書いてもらうスペースというものが自由記述にあるということですね。ありがとうございます。</p> <p>お願いします。</p>
事務局（山内）	<p>すみません、続けて申し訳ありません。先ほど入江委員から御意見いただきました市政に対する評価の順番なんですけれども、逆に、ほかの委員さんの御意見等も伺いたいと思うのですが、よろしいでしょうか。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>先ほど入江委員から御意見をいただきました市政に対する評価というのが8番目の大きな項目になるかなというふうに思いますが、これがもう少し早い段階でお答えをいただくほうがよろしいのではないかという御意見でしたけれども、委員の皆様からはどうでしょう。</p>

伊藤廣委員	よろしいですか。
藤井会長	伊藤委員、お願いします。
伊藤廣委員	<p>第2次総合計画基本構想10年間の、前期における5年が終了しようとしているということですが、それに対して後期を作成するに当たって、何をアンケートとしてということをお考えますと、今まで5年間でやられてきたことの満足度といったものが、まず第一ではなかろうかなと思われま。したがって、私は、入江先生の御意見に賛成ではあります。もう一点、今まで10年の計画のうちの半分をやられてきた進捗状況の上での、進捗の満足度といったものもアンケートに入れていただくことはできないのかなと考えますが、いかがでしょうか。</p>
藤井会長	<p>伊藤委員、ありがとうございました。</p> <p>8番の市政に対する評価のところは前にあったほうがいいだろうというふうな御意見を頂戴いたしました。併せて、前期の基本計画についての満足度というところで、アンケートに入れていただくことはできないのかとのことですが、ほか、委員の皆様方、御意見があればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>今井委員、お願いします。</p>
今井委員	<p>4番の話に戻っちゃうんですけど、新型コロナウイルスの感染について困っていること、心配なことをお伺いするに当たって、市側がそれに対して動いてくださるならいいんですけど、さきほど、入江先生がおっしゃっていたように、受け入れ体制ができているのかとか、やっぱりお願いごとをしたからこそ叶えてもらいたいという思いがここに籠っていると思うんですね。これ、丸をつけるのは簡単なんですけど、本当に困っていることとかをここに書けたらいいなと思って、後ろの自由意見まで来ちゃうと、皆さん、もう面倒くさいなとなっちゃう気がして、この思いが熱いうちに自分が困っていることをここに書けたらなと思うんですけど、いかがでしょうか。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>特にこの4番のところの新型コロナウイルス感染症についてというところが困っているところでもあるので、この項目を答えていただくとともに、具体的に書ける項目があったほうがいいのではないかとこのところですね。ありがとうございます。</p> <p>入江先生、お願いします。</p>
入江委員	<p>今の御意見、すごく納得しました。例えばですけれども、問11の後にもう一問つけて、そのほか、新型コロナウイルス感染症に関して、具体的にお困りのこと、市に対して何か言いたいこと、要望等があれば、自由に書いてくださいと、本当に小さな一問をつけておけば、ここに書いていただけるんじゃないかなと思うんですけども、それぞれ、問8も9も10も11もですけど、最後にその他、具体的にとありますけれども、どれにもあてはまらないけど、何か思いとしてあるんだというようなことを救うということで一つ設けてはどうかと思いました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>自由記述のところを、ここに当てはまらないもの、恐らく書いても書かなくてもいい項目にはなるのかなというふうに思うんですけど、書きたい方は、書いていただける項目というものをつけてはどうかという御意見だったかなと思います。ありがとうございます。</p> <p>そのほか、今、入江委員、今井委員の言われた御意見に対することやその他アンケートについての御意見、御質問があれば、八木委員、お願いします。</p>

八木委員	<p>このアンケートなんですけど、16歳以上から無作為という中で、3,000人ということなんですけど、弥富市、結構、駅前と南のほうでは温度差が大分違いまして、環境が大分違うということで、もし仮にですけど、3,000人の方がどちらかに偏った場合、実際、本当に平均した意見が取れるのかなと。過去に何かのアンケートを見せてもらったときに、偏った意見も多くて、実際は自分が住んでいる、特に南の電車も通っていないようなエリアでは、こんなこと思わないんだけどという声をあちこちから聞いて、何かちょっと寄っているんじゃないかということは感じたので、3,000人、無作為は無作為でいいと思うんですが、地区の割り方、中学校は幸いにもばらけているので、いい話が聞けるんじゃないかなと思うんですが、住んでいる実際の人間としては、うまく地区地区での無作為ができると、より弥富市全体の意見が聞けるんじゃないかなと思います、いかがですか。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。 住んでいるエリアのところによって、もちろん御意見は変わるという部分で、3,000人ができるだけ弥富市のいろんなところから声が聞けるといいかなというところが八木委員の御意見だったかなと思います、その点、3,000人無作為の抽出というところの予定等があれば、お話いただければと思いますけれども、いかがでしょうか。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>事務局の伊藤でございます。 アンケートの3,000人の方の抽出につきましては、現在のところ、学区割りで抽出をしようとしているところでございます。 以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。 学区ごとに、できるだけ平均的にアンケートが配られるようにというところで、結果的には弥富市全体のそれぞれのエリアでの御意見がまとめられるように、無作為で3,000人というところは検討されているということですね。ありがとうございます。 鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>ちょっと視点を変えてというところで、アンケートなんですけれど、ぜひ弥富市職員さん全員にも聞きたいなと、計画に関わる、実行される皆さんが実際どう思っておられるのかというのはちょっと興味深いので、弥富市民って、職員の方、どのくらいの比率がいらっしゃるんですか。</p>
安藤市長	<p>半分です。</p>
鈴木委員	<p>その半分の方はもう必ずというぐらいで、それ以外の方も、どちらにしても弥富市の行政に関わりながらのことなので、ぜひ職員として考えていることがここにまた見えてくると面白いのかなと。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございました。 弥富市に住まわれている職員さんの御意見というのも同じようなアンケートの中で聞ければなというところですね。なかなか市の職員という立場でいうと、書きづらいこともあるかもしれないと思いますけれども、この3,000人の中にそれを含めるかどうかというところもあるかなと思いますし、出てきた市民の方の意見というものをまとめる中に市役所の皆さんの御意見もつけるというところももしかしたらあるのかなというふうに思ったりします。</p>
鈴木委員	<p>できれば、薄めてほしくないです。市の中での傾向も見たいです。市民とのギャップがあるのか、そういうようなところが知りたいですね。匿名ですもんね。</p>

藤井会長	3,000人とは別で、市の職員さんにもアンケートにお答えいただくということですね。
鈴木委員	と思うんですけど、どうでしょう。
藤井会長	市長、お願いします。
安藤市長	<p>多くの御意見、本当にありがとうございます。</p> <p>今、鈴木委員から言われましたアンケートにつきましては、正職員全員にアンケートを取ってまいりたいと思います。また、この結果につきましては、職員だけの結果ということでお示しをさせていただきたいと思っております。若手の意見というのは、やはりこれからの未来の弥富市にとっては貴重な意見となってきますものですから、そういったものは大切にしていきたいと思っております。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症についてでございますけど、百年に一度と言われるようなパンデミックでございます。前期基本計画をつくったときには、このような感染症のことはなかった、感染症の話は入っているんですけど、このような長引く感染症ということは全然想定外のことでございます。これまで国、県、市等々がいろんな支援をしておりますが、まだまだ支援が足りないという部分もあります。ただ、このアンケートを聞いて、それにお応えできるかどうかというのは、市としてもなかなか難しいかなと、できることはやってきたのにとということであるわけでございますが、そのようなお困り事をお聞きしまして、まとめまして、次の後期の計画のほうにしっかりと少しでも反映できればと思っております。</p> <p>また、ICTとか、DXにつきましては、これからどんどん弥富の未来、日本中が、世界中が未来に向かって大きく大きく変わっていく分野であると思っております。そういった中で、どうしてもデジタル難民という言葉が適当かどうか分かりませんが、そういった方々も一方では出てくるように思うわけでございますが、そういった方々にも弥富に住んでよかった、弥富に生まれてよかったと思っただけのような、そんな施策が後期の計画でしっかりと書き込んでいければ、盛り込んでいければと思う次第でありますものですから、いずれにしても、弥富市民、「わたしとあなたの」ということでございます。全ての弥富市民が幸せにならなければ、どんな計画をつくっても何もならないわけでございますものですから、こういった議論を重ねながら、後期基本計画をよりよいものにしてまいりたいと思っております。引き続き御指導、御支援のほうをどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>新型コロナウイルス感染のところにつきましては、前期ではない、本当に世界的に緊急的な事項というのか、1年で終わると思いきや、3年続いているという現状になりますので、そこに対しても市民の方の御意見というものも大変貴重かなというふうに思いますので、設問とともに書いていただくスペースも改めてあったほうがよろしいのではないかなというふうに市長の話を聞いて思いました。</p> <p>ICT、デジタル化といったところでも、設問の中にありますような、現状、どうなんだというところを問いながらも、今後、市政の中でDX化を進めていくということに繋がる設問としても大事なところなのかなというふうに思いました。</p> <p>入江委員、お願いします。</p>
入江委員	<p>市長、ありがとうございました。</p> <p>こういう審議会に市長がきちんとこうやって臨席してくださるので、本当に弥富市さんのすばらしいところだなと思っているんですけども、そういうリーダーシップが今まさに発揮されて、例えば、職員の方のアンケートをやりますというふうにおっしゃる、すごくそれはいいところだと思うんですね。</p>

<p>藤井会長</p>	<p>この審議会もまさにこうやって今、一緒に議論に参加してくださるところを大いに活かして、市長のリーダーシップの下に、アンケートもそうですけれども、しっかり取って取りっぱなしにならないということで、この結果をきちんと公開し、なるべく声をすくい上げて、計画に反映させるということで進めていただければというふうに思います。ありがとうございます。</p> <p>入江委員、ありがとうございます。</p> <p>御意見を頂戴いたしまして、ここからどういうふうに修正していくかというところは、ぜひ事務局、私のほうに委員の皆様の御意見を頂戴してご一任いただければなというふうに思っております。今、いただきました御意見、全てが反映できるかというところは、今後のスケジュール等を鑑みながら、調整をしたいなと思いますし、何よりこの審議の場でいただいた意見を大事にしていきたいと思っておりますので、そういったところを考えながら検討していくという形でお願いできればと思いますが、よろしいでしょうか。</p> <p>私もこの会長という立場で、いろんな意見を言っていたきながら、必ずいろんな方の意見がどんな場でも反映できるかどうかというのは、どんな議論の場でも難しい部分が出てくるかなというふうに思います。だからって、何も言わないということではなくて、いろんな方の委員の意見をいただきながら、できることを考えていくということが事務局、我々委員の中で関係ができていくといいのではないかなと思いますので、そのような関係が、今後、2回、3回と続いていく中でできていけばいいなというふうに私は皆さんの御意見をいただきながら思いました。ありがとうございます。</p> <p>では、改めてですけれども、アンケートのところはここまででよろしかったでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>続きまして、市民ワークショップについてということで、事務局のほうから報告をお願いします。</p> <p>東嶋委員お願いします。</p>
<p>東嶋委員</p>	<p>今のアンケートなんですけど、この後に中学生向けのアンケートの用紙が資料1-3のほうにあるんですが、それを見ていて、ちょっと思ったことあるので。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>お願いします。</p>
<p>東嶋委員</p>	<p>この中学生アンケートの4ページ、3の学校環境についての問10なんですけど、小中学校の環境をより魅力的にするためには、何が必要だと思いますかという問いなんですけど、あまりに大き過ぎて中学生の子が書きにくいんじゃないかなと思って、何かテーマ的なことが何個かあったほうが書き出してくれるんじゃないかなと思ったんですけど。</p>
<p>藤井会長</p>	<p>3番目の学校環境についてというところの問10番ですね。小中学校の環境をより魅力的にするためには、何が必要だと思いますかというところですね。ありがとうございます。質問の内容自体はきっと魅力的にするために必要なものということですが、多分、中学生だとなかなか思いつきにくいんじゃないかなというのが、東嶋委員の御意見かなというふうに僕は受け止めました。じゃ、どう聞いたらいいんだらうというところが、もし委員の皆様から何か頂戴できればいいのかなと思います。聞きたいことは、中学生にとって、小中学校の中でどう変わったらいいかというところが、中学生が答えやすい質問であると、この自由記述の中で書きやすくなるのかなというふうに思うんですけども。</p> <p>清水委員お願いします。</p>
<p>清水委員</p>	<p>私もちょっとこの質問は気になっていたんですけども、環境という言葉が一体何を指しているのか、設備面のことを言っているのか、学校の周りのことを言っているのか、大人でもちょっと何だろうと思うところがあるので、いっそ何か弥富市の小中学校を魅力的にする</p>

藤井会長	<p>ためには何が必要ですかとかでもいいのかなと思いました。環境という言葉が具体的に何を指しているのかが分かりづらいので、惑わせられるという感じがしました。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>環境というところで、設備がよくなったらいいなというところを思い浮かべる生徒さんもうらっしゃるでしょうし、もう少しソフトの面で何か状況が変わったらという両方が確かに環境という言葉が入っているとイメージされるかなと思います。それをなくしてしまっ て、魅力的にするためにはというところで問うたほうが書きやすいというのは、おっしゃるとおりかなと思います。</p> <p>東嶋委員、お願いします。</p>
東嶋委員	<p>すみませんが、本日3時ちょっと過ぎに退席させていただきたいので。申し訳ありません。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>事務局のほうからこの辺の意図がもう少し伺えるといいかなと思いますが、お願いします。</p>
事務局（山内）	<p>すみません、先ほどの中学生アンケートについては、再度またこちらで検討させていただいて、もう少し分かりやすい、答えやすい形に修正したいと思います。ありがとうございます。</p>
藤井会長	<p>こちらのほうで引き受けさせていただいて、今いただいた御意見のところはもっともかなと思いますので、何より生徒さんが答えやすい問いである必要というのは大事なかなと思いますので、今書いてある意図を汲みながら答えやすい設問をというところを考えたと思いますのでよろしくお願いします。アンケートのところは以上でよろしかったでしょうか。</p> <p>ちょうど音が鳴りましたので、いいタイミングだったのかなと思いながら、次に移らせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>じゃ、最後の報告事項になりますね。ワークショップのことについて説明をお願いします。</p>
事務局（伊藤）	<p>それでは、市民ワークショップについて御説明いたします。</p> <p>着座にて失礼します。</p> <p>資料の2を御覧ください。</p> <p>こちらは、市民ワークショップの参加募集要項になりますが、計画策定に当たり、市民の皆様現在の課題や今後の取り組むべきことなど、弥富の未来について自由に意見を交換していただきます。</p> <p>なお、今回実施するワークショップは、全4回、1回当たり2時間を予定しております。</p> <p>募集人数を25人程度としておりますが、裏面の8、その他（3）にありますように、大学生の参加も予定しております。これは、今回審議委員となつていただいております中京大学と愛知学院大学の学識経験者の方々と調整をさせていただいて、このような運びとなりました。</p> <p>ワークショップは、現在の総合計画の基本目標ごとに6グループに分かれ、6名ずつを想定しておりますので、計36名。先ほどの2大学から各グループに1名ずつ入りますと、残りは約25名となり、それを公募する形となります。応募人数が定員を超えた場合は、抽選となります。</p> <p>ワークショップでは、市民等が自由に意見を交換できるよう、第1回目に弥富市の強みや弱みをはじめ、SDGsやDXなどについてのインプットを中心とした導入に重きを置き、第2回、3回はワークショップで意見出し等を行い、第4回目にワールドカフェ方式を取り</p>

藤井会長	<p>入れ、他の分野にも参加していただきます。</p> <p>なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、対面開催が困難な場合は、対面とオンラインを同時に行うハイブリッド開催や、完全オンライン開催も検討してまいります。</p> <p>なお、募集につきましては、9月広報への掲載、ホームページ、窓口での配布に加え、市民アンケートにワークショップの案内を同封する予定であります。</p> <p>市民ワークショップについての説明は以上となります。</p> <p>ありがとうございます。</p> <p>アンケートに続いて、市民の皆様の意見を集めるというところで、アンケートと比べてよりメンバーを絞って回数を重ねながら御意見を伺っていくというのが、このワークショップの取組になるかなと思います。1回だけではなくて、4回を通して、メンバーの方との対話交流の中からご意見をまとめながら頂戴するというのがこのワークショップ4回かなと思います。ありがとうございます。</p> <p>ただいまの御説明について、委員の皆様から御意見、御質問等ありましたら、お願いをいたします。</p> <p>今井委員、お願いします。</p>
今井委員	<p>25人の抽選の中で外れちゃったら、私たちは参加できないということですか。参加したいんです。やっぱり何か市民の方の声を聞くって、一番大事だと思うので、ここでやっぱり委員として選ばれたからには、やっぱりその意見をぶつきたいというか、伝えたいんですね。それって、やっぱり紙だけで見た意見じゃなくて、実際話していらっしゃる一つ一つを聞きたいので、できれば、委員でありますけれども、こういう場に参加させていただけたらかなと思います。</p>
藤井会長	<p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>僕もこの議論の推移はすごく興味があるので、参加者じゃなくても、オブザーバーとしてその現地にはいたいなと思っています。なので、それを認めてもらえれば、ありがたいかなと思います。</p> <p>できれば、委員の皆さんせっかく関わってるからみんなで聞きましょうよ。お忙しいからなかなか難しいと思いますけれども。</p>
藤井会長	<p>伊藤委員。</p>
伊藤委員	<p>傍聴させていただけるとありがたいということですよ。</p>
事務局（伊藤）	<p>失礼します。先ほど傍聴ですとか、オブザーバーというような言葉をいただきましたけれども、こちらとしましては、そのように積極的に関わっていただけること、大変ありがたいと思いますので、ぜひよろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>その場の中に行っていたいで、ワークショップですので、今回、本学の学生も入らせていただくというところに関わらせていただきますけれども、その中で話されていることというのを、直接聞いていただきながら、御意見もいただきながらというところができるというのかなというふうに思いますし、ワークショップの結果をこの場で報告させていただく以上に、その場においていただくことでの御意見の感触というのが、委員の皆様にとって、よりリアルなものになると思いますので、傍聴、アドバイス、参加というところはお認めいただいております。ありがとうございます。</p>

入江委員	<p>このワークショップの最終的な議論の成果を、どのようにこの審議会に反映させていくのかということを知りたいんですけども、今、たくさんのお意見も出ましたし、私自身も思うところですが、ぜひ結果を取りまとめたものを事務局からご報告ということではなくて、できれば、ワークショップの代表の方々に、何人かここにお越しただいて、議論の成果をご報告ただいて、みんなで共有するというほうが、より市民協働という点でもいいんじゃないかなと思うんですけども、いかがでしょうか。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。 実際に、本当にワークショップに出た皆さんがこの場でどうだったかということ、御意見としていただける場ができればということですね。 市長、お願いします。</p>
安藤市長	<p>アンケート、また、ワークショップの結果につきましては、第2回の審議会のほうで可能な限り報告をさせていただきたいと思っております。</p>
藤井会長	<p>日程的にいいますと、このワークショップ、資料にありますとおり、12月16日が最終4回目の開催ということになって、次の審議会が12月26日、後半というところで、ちょっとまとめるところのタイトさはあるかなというふうには思いますので、その報告の仕方というところは検討させていただいて、もしかしら、3回目のところにじっくりとご意見、何か成果として話すほうがいいのかもわからないですし、一旦、でも16日までやった結果というところは審議会の中でお伝えしたほうがいいのか。これは、ちょっと調整させていただいてかなと思ったりします。 今井委員、お願いします。</p>
今井委員	<p>市役所の方々は、参加とかされないんですか。一緒に何か作り出すことって、すごい重要だなと思っていて、距離も近くなると思うんですよ。市民って、市民の意見って、なかなか聞いてもらえないというマイナスイメージのほうが大きいと思っていて、でも、私、ヤトミーティングに参加して、すごい市役所の方々が精力的に動いてくださっているというのも肌で感じて、もっと仲良くなりたいなと思ったんですよ。もう市長、副市長、部長さん方が来てくださったら、もっと言いたいこと、距離が近過ぎても、すごい言われることも多くなっちゃうかもしれないんですけど、でも市民の意見を聞くというのは、やっぱり肌で直接感じていただくことが私は重要なと思っていて、だからぜひ皆さんに御参加していただきたい、オブザーバーでもいいので来ていただけると、うれしいなと市民側からは思います。</p>
安藤市長	<p>今井委員、御意見ありがとうございます。 私をはじめ、市職員もできる限り参加をさせていただきたいと思っておりますし、私も市民とは仲良くなりたいものですから、積極的に参加したいと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。 この場が、お互いが交流できる場であるということが、ワークショップのなかでも大切かなと思いますので、委員の皆様方も参加いただき、職員の方も参加いただき、市民の方も参加していただきということが、ワークショップのなかでできればいいのかなと思います。 鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>ワークショップを開催するに当たってお願い事が2つ。1つは、私も過去、ワークショップというのは、まちづくりの関連で何年か前から、参加させていただいた経験もあるんです</p>

	<p>けれども、得てして、このワークショップって、そのとき集められたメンバーでゼロスタートなので、大概、弥富の強み、弱みとか、いいところ、悪いところ、目指したいことって、何かその都度、同じような話題になりがち。弥富って、交通の便いいよね、人、温かいよね、でも北は発展しているけど、南はなかなかだよとか、そういうもう基本的なことが毎回出てくるんです。それを踏まえてどうしようかという、回も限られているので、結局、その部分、似たような方向性というか、レベルがどうしてもそこからさらに深入りしたような議論が進まないというか、どうしても時間切れになっちゃうという感じがあって、なので、できれば今回も第1回目で、そのインプットをやりますよということだったので、過去、こういうようなワークショップがあって、こういうようなことはもう全て出尽くされていますと。その上で、どうしたらいいですかというふうな投げかけ方をぜひいただきたいかなと思います。そうすると、これまでのワークショップも無駄にならずに、いつも感じていたのは、リセットみたいな感じがちょっとあったので、その辺がきちっと過去から踏まえて今あるというのをしっかり打ち出していて、参加者の方にその辺は理解いただいた上で議論を進めてもらうような格好がありがたいかなと思います。なので、第1回のインプットはすごく大事なかなと思います。</p> <p>それが1つと、それから、あと、2点目としては、大学生の皆さんが参加されるということなので、関係各位のゼミ生さんが中心になるのかと思うんですけど、良い悪いはあるんですけど、大学生の皆さん、結構無邪気なんですよね。私、弥富市民じゃないので、弥富のこと、よく分からないんですけどという、この前置きを持ってまた意見を出されると、どっちかという、もったいない感じがして、だったらもっと調べてから来てくださいよと。弥富のことを分かってから議論に参加してくださいよというところがちょっと思うところがあって、それはそれでまた学生さんたちにどこまで要求するのかという難しいですけど、単純に何かゼミの単位がもらえるから参加しましたみたいな感じもちょっとあったりするんで、その辺り、参加される方には事前に教授さんのほうからしっかり弥富ってこういうまちというのはレクをした上で参加いただくとうれしいかなと思います。</p>
藤井会長	<p>御意見ありがとうございました。</p> <p>まず、私もそういった場で学生と一緒に参加することも多い中、2つ目にいただいたお願いという部分は、私自身もすごく心配に思う部分では正直あります。いろんな学生がおりますので。ただ、今回については、事前のまちづくりについてという基礎的な部分と弥富のことを知った上で1回目に挑むというところは、学生に事前にレクチャーを行った上で参加をさせていただければと思っております。</p> <p>中には弥富市に住んでいない学生も参加をするというところにおいては、外の目ということもありますし、一方で、いろんな方がいらっしゃると、自分はなかなか発言できないわというふうになってしまっても学生たちはありますので、その辺り、うまくワークショップの中で、鈴木委員がおっしゃったような1回目のインプット、それから、関係づくりのところを丁寧にやりながら、この場の中では弥富市のことを深く知っている方も、あるいは、大学生で学んできましたという立場の学生であってもある程度できるというような場ができるといいのかなというふうに思いました。ありがとうございます。</p> <p>その他、ワークショップのところ、委員の皆様から御意見、御質問はありますでしょうか。</p> <p>今井委員。</p>
今井委員	<p>この25名の方って、毎回やっぱり、1回目から4回目まで同じ方ですか。応募したいという方がいたので。</p>
藤井会長	<p>同じ方が25名参加いただくという形で。心配なのはちょっとコロナの状況でハイブリッドにならないほうがいいというふうに思っておりますので、もちろんそうならざるを得ない環境においてはそうすべきなんですけれども、できるだけ対面という中で開催されるといいか</p>

事務局（伊藤）	<p>なというふうに思います。</p> <p>ほか、委員の皆様方から御意見ございますでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>では、このワークショップのところは、いただきました御意見、オブザーバーの参加、鈴木委員からあったお願いの事項等を踏まえて、日程のところは1回目から4回目という形、あるいは人数のところはこのような形で開催をさせていただくように進めまして、内容のところは検討しながらつくっていきたいと思います。よろしかったでしょうか。ありがとうございます。</p> <p>以上をもって、報告事項2点になります。</p> <p>続きまして、次第の8番、その他の事項になりますが、事務局からお願いできますでしょうか。</p> <p>では、次第の8、その他についてでございますが、次回の第2回弥富市総合計画審議会につきましては、12月26日、月曜日に開催を予定しております。日にちが随分空いてしまいますが、これは、各課において政策や事業の分析、実施計画の評価作業に一定時間を要するためでございます。</p> <p>なお、その際には、アンケートやワークショップの速報も併せてお示しできればと考えております。</p> <p>正式な開催通知につきましては、改めてお送りさせていただく予定でございます。</p> <p>事務局からは以上となります。</p> <p>失礼します。時間につきましては、基本的には今日と同じ1時半を予定しておりますので、こちらも併せて御通知させていただきます。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>今度の、第2回目の審議会ということで、12月26日、1時半からということでお願いいたします。</p> <p>入江委員のほうから御意見いただけますか。</p>
入江委員	<p>すみません、その他のところで意見を言おうと思っていたんですけども、申し訳ありません、少しだけ。1つ目、今後の進め方についてなんですけれども、一意見として皆様方にお聞きいただければと思いますが、こういう審議会について進め方なんですけれども、実は審議会の取り回しの進め方というのもすごくいろいろと進歩してきているところ、変化してきているところがありまして、今回の審議会については、会長のパーソナリティーも市長の御臨席もということもあって、すごく今、いい雰囲気になってきているなというのは感じているところなんです。</p> <p>この口の字に座っている形は、すごくオーソドックスな審議会の形です。これ、通常なんですけれども、最近、いろいろな実はトライアルが、ほかの自治体のことで恐縮ですが、されていることもありまして、こういう形だと、せっかく各界で御活躍の委員の皆様方に時間を割いて来ていただいているのに、なかなか時間の制約があって、意見を全ての方に出していただきにくいということがあります。</p> <p>ですので、例えば形を変えて、小さいグループを2つぐらい作って、対話型、ダイアログ型というふうに言うんですけども、そういう形で審議会を進めるという方法も、最近、結構流行ってきております。それは、何を目的にするかという、委員の皆様方が意見を言いやすい、思いを口にさせていただきやすいということがあります。</p> <p>市側としては、市民の意見、委員の意見を全て拾って、それに全て答えるのはちょっと難しいなというふうにして、ちょっと消極的になられることもあるんですけども、そういうダイアログ型、対話型というのは、全部の意見に答えるということが主目的ではなくて、むしろ委員の中で思いを共有したり、そこから何か新しい価値を生み出していったりということに主眼がありますので、そういう小さなグループに分かれましたらば、取りまとめの人を1人ずつ付けていただいて、そこで出た意見をみんなで共有し、例えば、ホワイトボードな</p>

	<p>んかを使って取りまとめるということをやったりするんですけども、そういう形で皆さんの中でどういう思いが今あるのか、これからの、特にこれから先の5年間の計画をつくっていく、このまちの未来をつくっていくということですので、その思いを反映する計画を、どういう形に持っていけばいいのかということそういう審議会でのスタイルというのも最近、割と各地で見られて、私も実際、それに参加したこともございます。</p> <p>そうすると、すごくいい副次的な効果としましては、委員の皆様方がこの審議会、何回かの審議会を経た後、全部の会議、その形でなくてもいいんですけども、もちろん議題によって合う合わないがありますので、何回かだけでもいいんですけども、そうすると、副次的な効果としましては、委員の皆様方がより市に対する思いを強く持って、計画ができた後にそれぞれのところに持ち帰っていただいて、こんな計画ができたよという、まさにこれからの市政のキーパーソンになっていただく、応援部隊になっていただけるという、すごくいい効果があるなというふうに感じております。また、行政の側と委員の方々の距離もすごく近くなったりとかというようなこともありますので、そういった形を御検討いただければ、あるいは、将来に向かってつくっていく計画ということではいいんじゃないかなというふうに思うところです。</p> <p>計画自体をどういう形で作って点検をしてということは、それも方法論がいろいろございまして、行政の市の担当者の方、皆さんもご承知だと思いますけれども、最近はバックキャストという方法も流行ってきています。それは何かというと、将来的に5年後とか、10年後、どんなまちになっていきたいか、どんな未来をつくりたいかということからまず考えて、そこから逆算して、今はどういうことをしていけばいいのかということを考えていく方法なんですけれども、そうすると、あまりできなかったところだけ粗探しをするというような進捗管理はしなくて済むんですね。ですので、未来的に、未来志向というんですかね、そういう形で議論をするといういい点もありますので、そういうことも一度検討いただければなというふうに思います。ありがとうございました。</p>
藤井会長	<p>入江委員、ありがとうございました。</p> <p>私も入江委員のおっしゃるところ、賛同するところはあります。なにより、私はこの場で非常に緊張してしまうので、もう少し少ない人数の中でいろんな委員の方との対話ができいくほうが、せつかくこの場でいろんなお立場の方がいらっしゃる中での御意見というものが反映されていくのではないかなというふうに思います。</p> <p>もちろんそれを全て引き受けるということではなくてというところが市役所さんとの関係の中でできていけると、言ったことをやらないということではなくて、言った意見が計画の中でできていく。あるいは、この5年の計画を考えていく審議会になりますので、何より将来のことをわくわくしながらというか、楽しみながら考えているということももしかしたら大事じゃないかなというふうに思いますので、そういった審議会に次回以降、少し検討しながら、先生がおっしゃるように、審議の内容にももちろんそこはよるところがあるかなと思いますので、形にとらわれずに、少し考えていけるといいのかなというふうに私も思います。</p> <p>最後に、本日の審議全般について、委員の皆様から御意見等ございましたら、お願いできればと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>鈴木委員、お願いします。</p>
鈴木委員	<p>余計なことを言いそうで、あまり、聞き流してもらえればいいんですけど、せつかくこの審議会の委員になるに当たって、応募用紙にも書いたんですけど、どうしても市の計画と違って、さっきバックキャストの話もありましたけど、前例主義というか、その積み上げ積み上げで計画を立てていくということで、良かったことと足りなかったことを補うような計画でという感じで、正直つまらないんですよ。それ、大事なことなんですけど。</p> <p>ただ、どっちかという、あと、日頃から思っているのは、結局、弥富市はどういうまちになりたいの、どうしたいのというのが全然見えてこないんですよ。それは、逆に市の行政</p>

	<p>からしたら、それは市民の方の思いがというところが先にあってということなのかもしれないんですけど、ただ、行政が関わる上で、これからこのまちはこうなっていくと思いますよみたいな、その中で市民と一緒に未来をつくっていきましょうみたいな形がすごくありがたくて、市民のほうは、無邪気にああしたい、こうしたいと言うかもしれないんですけど、その中でも本当に弥富だからとか、弥富らしさというのをしっかり打ち出した計画になるとありがたく、嬉しいです。みんなのいろんな地域の特徴はあろうかと思えますけど、今までの計画って、結局、どこの自治体でも言えることだよみたいな、何か総花的な言い方で終始しちゃうので、もう少し弥富らしさを出してもらいたいというか、せっかくそのメンバーになったから、弥富らしさを出したいというところがあるのと、行政の職員の皆さんももっと個性を出していいんじゃないですかというところがあって、どうしても市民の方と接点というところ、何か窓口で苦情に来る人しか知らないみたいなじゃなくて、市民の中には、やっぱり今井さんも言っていたけど、もっと仲良くなりたいたいですよ、市と、市の職員の皆さんと。それでもって一緒にまちづくりをしていきましょう。それが市民協働の形になっていくと思うので、そういう中では、行政マンは別にロボットじゃないので、それを別に期待しているわけじゃないので、血の通った人間同士として本当に個性を出してもらえればもっといいのに、何か個性を出しちゃいけないような雰囲気というか、行政というか、公務員って、そうなんですかねみたいなところがあるんですけど、もっといろいろ言ったらいいじゃん、思っていることを素直に言ったらいいじゃないという、多分もっと怒ってもいいと思うんですよという、市民がよく分からないことを言い出したら、いや、何を言っているんだお前と言って、ここだといって、そのエビデンスがちゃんとあるかということですよ。</p> <p>市としてはこういうことを考えて、これをみんなのためにやっているんだから、その計画のとおり、これは進行しているんです、今、こういう状態なんですときちんと言えるかどうか。それにそぐわないことを市民が何かふわっと言ってきたら、いや、それはちょっと違いますよとちゃんと説明できる。それをごねるとか、そういうこともあるでしょう。だから、そういうことはきちっと振り分けというか、これは聞くべき意見、これはきちっと理解いただく部分とかというのも分けたいし、そういうやり取りの中でもっと血の通ったやり取りがあっていいんじゃないかなというのはすごく思うので、この場ももっとアットホームにしたいなみたいなものはちょっとあります。</p> <p>以上です。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございました。</p>
入江委員	<p>すみません。今の御意見、私もそのとおりだと思ひまして、エビデンスに基づいて血の通った議論をということであると、私、肝心なことを申し上げるのを忘れていたんですけれども、これまで様々な点で、本当に僅かですが、市の行政に関わらせていただいた身からすると、大変な失礼なことかもしれませんが、財政状況は決して厳しくないとは言えない状況にあると思っています。ですので、その辺りのエビデンスをきちんと示していただいた上で、これから先の5年間、どういうまちをつくっていくのかという、本当に実のある議論をこの場で皆様とできればというふうに思います。ありがとうございました。</p>
藤井会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>より信頼関係を築きながら、弥富愛にあふれる審議会になるといいなというふうに思います。すみません、不慣れな会長進行で、御発言しにくい部分もあったかなというふうに思いますが、本日は御協力をいただきましてありがとうございました。引き続き、計画策定まで御協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、進行を事務局のほうに戻させていただきます。</p>
事務局（伊藤企画政策課長）	<p>各委員の皆様におきましては、貴重な御意見を多数いただきましてありがとうございました。</p> <p>次回の審議会は、先ほどもお伝えしましたが、12月26日の月曜日、13時30分に開催予定です。</p>

ございます。併せてよろしく願いいたします。

以上をもちまして、第1回弥富市総合計画審議会を閉会させていただきます。委員の皆様方、ありがとうございました。お疲れさまでした。